

「さやま生涯学習をすすめる市民の会」交流会報告 「交流会を通して、生涯学習の在り方や 情報発信の方法について学ぶ」



狭山市の「さやま生涯学習をすすめる市民の会」代表理事の藤原俊昭氏から当会との交流会の申入れがあり、3月28日(水)午後1時半～午後4時半 足立区生涯学習センターで開催されました。

当日は、センターの施設見学と双方の活動紹介、意見交換、最後に懇親会を開催し情報交換を行いました。

参加者は「さやま生涯学習をすすめる市民の会」(略称：市民の会)より12名、狭山市立中央公民館の社会教育主事1名、当会より12名が参加しました。両代表理事の挨拶、「あだち区民大学塾」概要説明の後、生涯学習センター平野所長にセンターの主な施設をご案内いただきました。双方

の参加者自己紹介に続いて、市民の会の活動概要を代表の藤原氏よりご紹介いただきました。

- 平成 13 年狭山市生涯学習プロジェクトとしてスタートし、平成 17 年市民の会となり、平成 26 年 4 月から NPO 法人化し 5 年目に入る。正会員は 54 名(平成 29 年度)
- 市民の会は「市民の生涯学習を市民みずから支援する」ボランティアの市民組織であり、行政との協働型で 3 つの施策を掲げている。
施策 1：生涯学習活動の支援体制の充実(つなぐ)
施策 2：生涯学習の機会や場の充実(学ぶ)
施策 3：生涯学習の成果の活用(活かす)
- 主業務は「狭山市生涯学習情報コーナー(さやまなびいネット)」の窓口相談業務(案内人)教育委員会の委託を受け、市民が生涯学習に取り組むための情報提供や相談に応ずる窓口さやま市民大学の案内人養成学科の修了生、および市民の会会員とで構成、案内人登録者数は約 40 名、内 30 数名が毎日、市民への生涯学習に関する情報提供や各種相談に対応、案内人は 2 名から 3 名で構成するが、各人の相性もあり、組み合わせに苦労している。
- 運営の課題として、活動会員の不足による固定化(付加のアンバランス)、高齢化、等当会の課題とも共通するものでした。

その後、当会の活動紹介を行いました。市民の会から事前に質問をいただいており、その回答も含め当会の活動を説明しました。他団体がどのような悩み(課題)を抱え、交流会を通じて何を学ぼうとしているのか? 知ることができました。「井の中の蛙」にならないよう、他団体との交流の必要性を感じました。質疑応答では、「講座の企画から開催までの期間はどの位かかるか?」等々の質問がありました。最後に参加者全員で記念写真を撮り、交流会は終了しました。場所を 7 階のレストラン「さくら」に移し、懇親会が開催さ



れ活動の苦労話など情報交換を行い、親睦を深めました。生涯学習ボランティアも、地域の生涯学習に係る環境や組織、運営方法に違いがありますが、運営の課題等共通点も多く、これからも互いに交流を深めていきたいものです。
(ボランティア活動推進部 篠原英也)

千住のタカラ湯店主が語る「銭湯の変遷」

平成 29 年度末、足立区の銭湯は都内で 3 番目に多い 33 軒あるといわれています。銭湯は全国的に減少傾向にあり、歯止めがかからない現状です。

しかし銭湯は今、“伝統文化”として注目され見直されています。そこで今、銭湯の歴史や役割、銭湯文化について千住元町のタカラ湯店主 松本康一氏に語っていただき、銭湯の変遷について学びます。

講師：松本 康一 氏 タカラ湯店主 あだち銭湯文化普及会員

日時：6月5日、12日、19日 毎回 火曜日 午後2時～4時
但し3回目は午後1時30分～2時30分

会場：足立区生涯学習センター 研修室4

講義内容：

第1回 昭和初期からの銭湯の変遷

～銭湯の歴史、役割、そして文化～

第2回 銭湯の建築の特徴

～宮作り、タイル、カラン、格天井、番台、坪庭、浴槽、煙突、背景画～

第3回 現地学習（タカラ湯） 入浴体験（無料）

～防災協力井戸、煙突屋、釜屋、穴蔵屋、等～



「狐狸庵先生」遠藤周作ワールドを愉しむ

昨春「沈黙」が再度映画化され注目を浴びました。遠藤周作は罪の原点を探り、苦しみながらも生きる意味を世に問うた作家でした。一方で「狐狸庵先生」として笑いを振りまき、自ら病を抱えながらも人生を愉しんだ人でもありました。番記者をしていた講師が、その作品を紹介しながら、横顔にも触れつつ「遠藤周作ワールド」を愉しみます。



講師：原山 建郎（たつろう）氏 日本文藝家協会会員

日時：6月7日、14日、21日 毎回 木曜日 午後2時～4時

会場：足立区生涯学習センター 研修室4

講義内容：

第1回 狐狸庵先生の「おどけ」と「哀しみ」

～ぐうたら人間学 狐狸庵閑話・おバカさん～

第2回 永遠のマリア観音「最愛の母・郁」と「終生の伴走者・順子夫人」

～母なるもの・夫の宿題～

第3回 遠藤周作の「病」と「心あたたかな医療」キャンペーン

～遠藤周作のあたたかな医療を考える～

講座運営スタッフへの参加をお待ちします。

申し込みは、あだち区民大学塾事務局へ

電話・FAX 03-5813-3759（平日午後1時～5時）

E-Mail：shinohdy@s2.wh.git.ne.jp

（ボランティア活動推進部 篠原英也）

国民生活から見た日本経済入門

4月7・14・21日(各土曜日)午後2時～4時に開催された。応募者27名、受講者23名、第1回18名・第2回22名・第3回18名、延べ58名であった。講師は元農林水産省課長職で足立区在住の柴田寛氏。

第1回は「バブル崩壊以降、国民の意識と家計はどうなったのか。」というテーマで、世論調査・家計調査・給与調査からバブル経済崩壊以降、家計の収入・支出・貯蓄が伸び悩んでいる実態と国民世論の動向を分析し、2017年の勤労者世帯の収入は1990年とほぼ同じであるにもかかわらず、近年、国民世論では収入や貯蓄への満足度が上昇傾向にあり、低迷が長く続くとそれが異常ではなく普通と感ずるのではないかと分析された。第2回は「国民生活の変化をライフステージごとに考える。」というテーマで、出生と死亡・教育・雇用・結婚と離婚・自殺と死因の5つのステージに分けて、バブル経済の崩壊が国民生活に与えた影響が分析された。第3回は「格差の拡大と貧困の増大を考える。」というテーマで、生活保護の増加や子供の貧困率などの分析が行われた。貧困も格差も高止まりが認められ、企業の内部留保が高いので、賃金の増加が必要と指摘された。

国の多くの調査データを分析して、様々な課題をあぶりだし、今後必要な対策を提言するという、講師の持論が存分に発揮された講座であったと思われる。受講者は毎回4回のクイズや、理路整然とした講義、講師が作られたテキストに、十分満足していただけたものと思われる。

- 受講者の意見 -

- ・生活に身近なデータやグラフを用いて大変分かり易く説明され理解できた。
 - ・数字の裏付けがありとても説得力がありわかり易い。
 - ・経済の基礎が理解できた、今年で3年目になりますが経済が身近に感じるようになった。
- などの好評価をいただきました。

(系井史郎)



「社会教育」2018年4月号 記事紹介

当会顧問・園田碩哉氏

PROPOSAL 欄に下記標題で寄稿されています。

社会教育/生涯学習を再構築するための基本的な考え方

「社会教育」は大学塾事務局のロッカーに保管してあります。



4月 月例会報告 4月10日

キッコーマン工場見学と清水公園お花見の会



麗らかな春の日4月10日、総勢15名で工場見学と公園を散策しました。

つくばエクスプレスで北千住を出発し、途中電車を乗り換えて野田市駅に着いたのは11時前でした。



そこから数分歩いた所にキッコーマン野田工場がありました。工場に着くと早速案内係の人から説明がありました。まず、映像室でしょうゆの製造工程の映像を見せていただき、それから実際にその工程をガラス窓越しに見学しました。しょうゆの主な原料が大豆、小麦そして食塩(水)で、それに種麹を混ぜてつくります。主として、大豆の蛋白質がうま味をつくり、小麦の澱粉が香り



と甘味をつくります。しょうゆは胃液の分泌を活発にする働きがあり、殺菌力があります。

しょうゆは300年以上も続いている日本伝統の発酵調味料であるのに若者のしょうゆ離れが起きていることは本



当に残念だと、職員の方が話されていました。1時間の工場見学を終えてから昼食のもろみ弁当を美味しく頂き、次の目的地の清水公園に向かいました。清水公園駅に着くと駅前の桜並木はすっかり葉桜に変わっていました。桜並木を15分歩いて公園に到着、しばらく歩いていると、やっときれいな八重桜が目飛び込んできました。さあ記念写真を1枚パチリ……。

また、ひたすら歩き、フラワーガーデン「花ファンタジア」に着きました。そこで私たちを出迎えてくれ



たのは一面に広がって咲いているパンジーの花たちでした。そこからはそれぞれが思い思いに、足の赴くままの散策が始まりました。桜の花が終わってフラワーガーデンを訪れる人は



少なく、それがかえって緑と静寂に身を置くひとときを持たせてくれたように思います。

一万数千歩の心地よい一日でした。

(佐野祝子)

4月 運営委員会報告（4月2日）

1. 代表挨拶：報告および提案

- (1) あだち区民大学塾は 区民ニーズを反映した講座を企画・提供してきており、29年度は18講座を提供しました。これも会員の皆様のご尽力の結果だと思えます。御礼申し上げます。
特に29年8月には足立区との協創企画の特別講演会「浮世絵で知る「美人画」の魅力」は郷土博物館の浮世絵展と連携し、足立区、足立区教育委員会、郷土博物館、生涯学習センターと楽学の会の5者共催で開催し、多くの受講者があり盛況で受講者より高い評価を頂きました。
また定員を超えた講座が多く、NHK大河ドラマ関連講座「西郷隆盛と明治維新」講座や近世江戸歴史入門、上野彰義隊の顛末講座ほか延べ受講者100名超えた講座も8講座ありました。
これは講座企画のよさが評価いただいたと思えます。今後も会員のネットワークを活かして新規分野の講座を開拓していきましょう。
現在30年度講座を企画中ですが、足立区関連講座を提供し、区民の皆様にあだちの魅力を知って頂く様にしていきたいと思えます。また30年度に「生涯学習支援ボランティア養成講座」大学塾として開催企画中です。楽学の会の会員を獲得できるようにしていきたいと思えます。
- (2) 生涯学習センターよりの受託事業
29年度は「心と体の健康講座」シリーズとして「健康心理学」講座、「体内時計と健康」講座の2講座を提供し多数の受講者がありこの分野への関心の高さを感じました。今年度も心と体の健康講座のシリーズ講座を企画、提供していきたいと思えます。
- (3) 生涯学習関連NPO、団体と連携、交流の充実
11月に都内の社会教育主事の方の会「学びのクリエイターになる！」実行委員会との交流会を実施しました。3月28日には「さやま生涯学習をすすめる市民の会」の交流会開催し狭山市より13名が来場され双方の会の活動内容の意見交換を行い有意義な交流会でした。今後も他団体との交流を深めていき我々のスキルアップに繋げていきたいと思えます。
- (4) 29年度事業報告と30年度事業計画を本日報告頂きます。
30年度の重点施策は あだち区民大学塾での足立区関連講座の開催 生涯学習ボランティア養成講座の開催 NPO法人設立15周年記念事業の開催です。会員の皆様のご協力をお願いします。
- (5) 足立区の4月1日人事異動：
ご指導頂きました地域文化課の浅見課長が勤労福祉サービスセンターへ、野中係長は教育委員会へ転出され、濱田課長、関口係長が就任されます。楽学の会を御理解頂き連携して進めていきたいと思えます。

2. 議事

- (1) 情報交換
- ・総会(5/18開催)にむけて 理事会：4/24及び5/1開催 監査会：4/26開催
 - ・「実費弁償による事務処理の受託等の再確認について」 認可済 資料配布、説明
 - ・さやま生涯学習をすすめる市民の会 との交流会 3月28日(水) ポラ部より報告
 - ・29年度大学塾講座実施報告書作成、製本について
原稿まとめ 4/17 印刷日 4/20 23 1時～ 製本実施日 4/24 1時～
 - ・あだち区民大学塾 運営マニュアル検討委員会から報告 改訂第3版を配布 (全会員に配布)
- (2) 月例会開催について
- ・4月月例会 4/10 キックマン野田工場見学と清水公園お花見 詳細説明、会から補助する
 - ・5月予定 5/18 総会
- (3) あだち区民大学塾(検討会議・企画会議・地域協働講座)
- ・「日本経済入門」 4/7 14 21 研4 応募者27名
 - ・「平家物語」 4/12 19 26 研4 応募者56名
- (4) 受託事業について
ナシ
- (5) NPO設立15周年記念事業について
実行委員長小林より報告： 10/20(土) 開催、祝賀会「さくら」5時～
30年予算作成のため、記念誌の概算見積 事務局へ提示
- (6) 29年度事業報告及び30年度事業計画
資料配布、各部長より報告
配布資料に基づき、事務局にて総会資料作成
- (7) 各部局・PTからの報告および提案(省略)

生涯学習センター 講座情報

講座名：讓位と即位・大嘗祭の歴史を探る
古代～近現代

日時：6月2日～7月7日（6月23日を除く
5日制 いずれも土曜日 午後2時～3時30分
対象：16歳以上の方
会場：足立区生涯学習センター5階 研修室3
受講料：5,000円（一般） 3,500円（70歳以上の
方、障がい者手帳をお持ちの方）
定員：30名（事前申込先着順）
講師：荒木 敏夫氏（専修大学文学部名誉教授）
内容：2019年4月に今上の退位、5月に新天皇の
即位、11月に大嘗祭が行われる。
皇位の継承は、日本の歴史を特色付けるものであり、
その儀礼の淵源は古代にさかのぼる。
この講座は、皇位継承の儀礼が整う歴史をたどり、
讓位と踐祚即位・大嘗祭の儀礼の全容とそれらの歴
史的意味を解説し、その後の儀礼の中断
と変容を経て近現代にいたる歴史を展望するもの
です。

講座名：東京未来大学共催公開講座
観光コースからはずれて見る沖縄
シマの祈りの空間

日時：6月23日 土曜日 午後7時～8時30分
対象：16歳以上の方
会場：足立区生涯学習センター5階 研修室3
受講料：1,000円（一律）
定員：30名（事前申込先着順）
講師：森下 一成氏（東京未来大学准教授）
内容：那覇空港着陸前からエメラルドグリーンの
海が出迎えてくれる沖縄。観光地としてハワイと肩
をならべるまでになりましたが、この講座では、一
般的な観光コースではあまり紹介されていない沖
縄の姿を、長期間にわたるフィールドワ
ークで撮影した写真をもとに紹介します。
講師は、公共空間（建築外部空間）とそのデザ
インを研究テーマとしていますが、この講座では「祈
りの空間」をメインにご紹介していきます。

申し込みは、生涯学習センターへ
電話（03-5813-3730）または直接窓口へ

6月「月例会」のご案内

「楽学の会」6月の月例会は次の通りです。

開催日：6月15日（金）
開催時間：午後3時30分～5時
場所：生涯学習センター5階 研修室4
テーマ：足立区の生涯学習に

関する30年度施策

講師：足立区地域文化課長 濱田 良光 氏
テーマ：生涯学習センター30年度重点事業
講師：生涯学習センター所長 平野 昌暁 氏
皆様の積極的な参加をお待ちしています。

（ボランティア活動推進部）

楽学インフォメーション 会のお知らせ

運営委員会

5月 1日（火） 午後3時～5時 研修室4

総会・月例会

5月 18日（金） 午後3時半～5時 研修室4
学習支援部

5月 10日（木） 午後2時～4時 ワークルーム
ボランティア活動推進部

5月 7日（月） 午後2時～4時 ワークルーム
広報部

5月 7日（月） 午後2時～4時 メール会議

5月 23日（水） 午後2時～4時 ワークルーム

5月 28日（月） 午後2時～4時 ワークルーム
事務局

5月 2日（水） 午後2時～4時 ワークルーム

5月 8日（火） 午後2時～4時 ワークルーム
大学塾講座検討会議

5月 16日（水） 午後2時～3時半 研修室4

大学塾講座企画会議

5月 1日（火） 午後1時半～3時 研修室4

生涯学習センター 休館日

5月 14日（月）

お問い合わせ＆ご意見等

「楽学の会」の運営に関するお問合せ
事務局 江川武男 電話：090-3105-8140
E-Mail：takeo-wg@cj9.so-net.ne.jp

「ホームページ」のご案内とお問合せ
<http://gakugaku.main.jp/>
広報部 神戸 明 電話：03-3606-0058
E-Mail：kambe.akira2@gmail.com

編集後記

西新井大師の花まつり、見られる花は、桜、牡丹、
藤、芍薬、紫陽花など、牡丹園と藤棚が見ごろを
迎えていました。日頃何かと忙しいボラ活動の合
間にも身近にある場所で心を癒すそんな時間の過
ごし方をして観ては如何でしょうか。（広報部）



（西新井大師 牡丹園・藤棚）